

神奈川県立金沢養護学校



# 学校だより

第 145 号 平成 31 年 4 月 5 日

## 新年度のスタート、よろしくお祈いします

校長 鈴木 英資

この4月より金沢養護学校に校長として着任しました 鈴木 英資 です。よろしくお祈いします。まずは、金沢養護学校の児童・生徒の皆さん、そして保護者の皆さま、入学、進級おめでとうございします。今年度の金沢養護学校は、4月5日の入学式において、たくさんの新入生を迎え、全校児童生徒数は295名となりました。教職員一同、子どもたちのために、全力で支援してまいりたいと思ひます。本年度もよろしくお祈いします。

新年度を向かえ、私自身が着任一年目であることも踏まえ、改めて学校の歴史を振り返りたいと思ひます。まずは、平成18年4月に旧並木第三小学校跡校舎を利用した鎌倉養護学校並木分教室が開設され、金沢養護学校としてのスタートは、平成19年4月の旧横浜市立並木第三小学校跡校舎を仮校舎とした知的障害教育部門の小学部、中学部、高等部の設置からのスタートとなります。翌平成20年には、肢体不自由教育部門が開設され、本格開校となりました。その時点で児童生徒数も215名と、地域のニーズがいかに高かったかを振り返ることができまひます。そして、平成23年4月には、県立氷取沢高等学校内に分教室（知的障害教育部門高等部）も設置され、現在に至っています。金沢養護学校として12年目を向かえることができたのも、教職員だけでなく、児童生徒たちのがんばり、保護者や地域の皆さま、関係者の皆さまの支えがあつてこそです。改めて感謝申し上げます。

学校としての歴史は浅い学校ですが、これからも、一つ一つの出来事を積み重ねながら、保護者の皆さま、地域の皆さま、関係者の皆さまと情報を共有し、子どもたちの成長を、ともに願ひ、育んでいくことができるよう努力していきたくと思ひますので、これからもご支援、ご協力をよろしくお祈いします。

